

## 学習指導要領及び同解説におけるオリンピック・ パラリンピック関連の記述について

### 【小学校 学習指導要領】

#### 第2章 各教科

##### 第2節 社会

##### 第2 各学年の目標及び内容

###### 〔第6学年〕

#### 2 内容

(1) 我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

ケ 日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。

(3) 世界の中の日本の役割について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、外国の人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であること、世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることを考えるようにする。

ア 我が国と経済や文化などの面につながりが深い国の人々の生活の様子

イ 我が国の国際交流や国際協力の様子及び平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働き

#### 3 内容の取扱い

(3) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。

イ イの「国際交流」についてはスポーツ、文化の中から、「国際協力」については教育、医学、農業などの分野で世界に貢献している事例の中から、それぞれ選択して取り上げ、国際社会における我が国の役割を具体的に考えるようにすること。

### 【小学校 学習指導要領解説】

#### 第3章 各学年の目標及び内容

##### 第3節 第6学年の目標と内容

#### 2 内容

この内容は、おおむね昭和の時代における主なできごとのうち、日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などの歴史的な事象を取り上げ、これらを具体的に調べることを通して、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かるようにすることをねらいとしている。

(略)

「オリンピックの開催」について調べるとは、例えば、スポーツの祭典としてアジアで初めて東京で行われたオリンピック大会や、その後我が国で開催されたオリンピック大会を取り

上げて調べ、戦後我が国の国民生活が向上したことや我が国が国際社会において重要な役割を果たしてきたことが分かるようにすることである。

(内容の取扱い)

「国際交流」については、オリンピックや国際競技会などのスポーツによる国際交流や、歌舞伎や能、邦楽の演奏などの海外公演、海外での柔道や剣道などの我が国の伝統的武道の紹介、外国の絵画や舞踊、音楽などの日本での展覧会や公演など文化による国際交流を取り上げることが考えられる。また、「国際協力」については、教育、医学、農業など様々な分野で技術者を海外に派遣したり、国内に海外からの研修生を受け入れたりしている事例を取り上げることが考えられる。それらを具体的に調べることを通して、国際社会における我が国の役割を具体的に考えるようにする。

## 【中学校 学習指導要領】

### 第2章 各教科

#### 第7節 保健体育

#### 第2 各分野の目標及び内容

##### 〔体育分野 第3学年〕

#### 2 内容

##### H 体育理論

(1) 文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする。

ア スポーツは文化的な生活を営み、よりよく生きていくために重要であること。

イ オリンピックや国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること。

ウ スポーツは、民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結び付けていること。

## 【中学校 学習指導要領解説】

### 第2章 保健体育科の目標及び内容

#### 第2節 各分野の目標及び内容

##### 〔体育分野〕

#### B 器械運動

#### 2 内容

##### 〔第1学年及び第2学年〕

#### 3 知識、思考・判断

##### ○ 知識

「器械運動の特性や成り立ち」では、器械運動は、マット運動、鉄棒運動、平均台運動、跳び箱運動で構成され、種目に応じて多くの「技」があり、技の出来映えを競うことを楽しむ運動として多くの人々に親しまれてきた成り立ちがあること、オリンピック競技大会の種目では、体操競技として行われていることを理解できるようにする。

#### C 陸上競技

##### 〔第1学年及び第2学年〕

#### 3 知識、思考・判断

○ 知識

「陸上競技の特性や成り立ち」では、陸上競技は、「歩く」「走る」「跳ぶ」「投げる」といった基本的な運動で、自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動であること、古代ギリシアのオリンピック競技、近代オリンピック競技大会において主要な競技として発展した成り立ちがあることを理解できるようにする。

D 水泳

[第1学年及び第2学年]

3 知識, 思考・判断

○ 知識

「水泳の特性や成り立ち」では、水泳は、浮く、進む、呼吸をするというそれぞれの技術の組合せによって成立している運動であり、泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動であることを理解できるようにする。また、イギリス産業革命以後、顔を水面に出す護身用の泳ぎから、タイムを競うスピードを出すために工夫された近代泳法が完成されたこと、近代オリンピック競技大会において主要な競技として発展した成り立ちがあることを理解できるようにする。

E 球技

[第1学年及び第2学年]

3 知識, 思考・判断

○ 知識

(略)

また、古代より世界各地で様々な球技が行われてきたこと、近代に入り学校で行う球技が開発され、普及してきたこと、今日ではオリンピック競技大会においても主要な競技として行われているといった成り立ちがあることを理解できるようにする。

F 武道

[第1学年及び第2学年]

3 知識, 思考・判断

○ 知識

「武道の特性や成り立ち」では、武道は、技を身に付けたり、身に付けた技を用いて相手と攻防する楽しさや喜びを味わうことのできる運動であること、武技、武術などから発生した我が国固有の文化として今日では世界各地に普及し、例えば、柔道がオリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることを理解できるようにする。

[第3学年]

3 文化としてのスポーツの意義

イ 国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な役割  
オリンピック競技大会や国際的なスポーツ大会などは、世界中の人々にスポーツのもつ教育的な意義や倫理的な価値を伝えたり、人々の相互理解を深めたりすることで、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解できるようにする。

また、メディアの発達によって、スポーツの魅力が世界中に広がり、オリンピック競技大会や国際的なスポーツ大会の国際親善や世界平和などに果たす役割が一層大きくなっていることについても触れるようにする。

**【高等学校 学習指導要領】**

第6節 保健体育 第2款 各科目

第1節 体育

2 内容

H 体育理論

- (1) スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。
- ア スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。
  - イ スポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていること。
  - ウ 現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックムーブメントがあること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること。
  - エ 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。

**【高等学校 学習指導要領解説】**

第1部 保健体育 第2章 各科目

第1節 体育

3 内容

H 体育理論

1 スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴

中学校では、運動やスポーツの必要性和楽しさ、現代生活におけるスポーツの文化的意義、国際的なスポーツ大会などが果たす役割、人々を結び付けるスポーツの文化的な働きなどについて学習している。

ここでは、その学習を踏まえ、運動やスポーツの合理的、計画的な実践を通して、知識や技能を深め、楽しさや喜びを味わい、それらを生涯にわたって豊かに実践できるようにするため、単に運動やスポーツを受動的に楽しむだけでなく、スポーツはどのような発展や変化をしてきたのか、どのような役割を果たしているのかといったスポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴などについて理解できるようにする必要がある。

このため、本内容では、スポーツの歴史や我が国から世界に発展したスポーツがあること、国際親善や世界平和に貢献する運動にオリンピックムーブメントなどがあること、スポーツの文化的価値を失わせる行為としてドーピングがあること、現代社会ではスポーツが経済の中で大きな位置を占めていることなどを中心として構成している。

1 スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴

- ア スポーツの歴史的発展と変容
- イ スポーツの技術、戦術、ルールの変化
- ウ オリンピックムーブメントとドーピング
- エ スポーツの経済的効果とスポーツ産業

ア スポーツの歴史的発展と変容

スポーツは、世界各地で日常の遊びや労働などの生活から生まれ、次第に発展し今日に至っていること、歴史的な変遷を経て、現代では、競技だけでなく、体操、武道、野外運動、ダンスなど広く身体表現や身体活動を含む概念として、スポーツが用いられるようになってきていることを理解できるようにする。また、近年では、諸外国に普及、発展している日本発祥のスポーツがあることを理解できるようにする。

なお、現代のオリンピック競技種目の多くは、19世紀にイギリスで発祥し発展してきたことについても触れるようにする。

イ (略)

ウ オリンピックムーブメントとドーピング

現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックムーブメントがあること、オリンピックムーブメントは、オリンピック競技大会を通じて、人々の友好を深め世界の平和に貢献しようとするものであることを理解できるようにする。

(略)

なお、指導に際しては、中学校で「国際的なスポーツ大会などが果たす文化的役割」を学習していることを踏まえ、オリンピックムーブメントとドーピングに重点を置いて取り扱うようにする。

エ (略)

## 第2部 体育 第2章 各科目

### 第1節 スポーツ概論

#### 2 内容

(1) スポーツの歴史・文化的特性と現代の特徴

スポーツの振興発展にかかわるためには、文化的、社会的、経済的な背景などの幅広い視点からスポーツを理解できるようにする必要がある。このため、本内容は、スポーツの歴史的発展と変化、スポーツの技術、戦術、ルールの変化、オリンピックムーブメントとドーピング、スポーツの経済的波及効果とスポーツ産業などで構成している。

ア スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて変化してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。

イ (略)

ウ 現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックムーブメントがあること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること。

エ (略)

なお、指導に際しては、科目「体育」の「体育理論」で解説した内容に加え、アでは、選択するスポーツ種目の成り立ち、その時代背景や普及過程、オリンピック競技大会の歴史、日本発祥のスポーツなどを、イでは、選択するスポーツ種目の初期のルールやその後の変遷、ルール変更に影響を与えた要因、スポーツの商品化が及ぼす影響などを、ウでは、オリンピック憲章の考え方に基づくI O Cの役割、ドーピングと医薬品の服用、トッパスリートに求められる倫理観などを、エでは、スポーツに関連した様々な職業のうち、生徒に関連する具体例などを、生徒の興味・関心の程度等に応じて適宜取り入れるようにする。

#### (5) スポーツの企画・運営及び管理

人々がスポーツに関わる多様な機会を提供することで、スポーツの振興発展にかかわるには、スポーツ大会などの提供したスポーツプログラムを適切に運営するための手順や施設の管理・運営の仕方を理解できるようにする必要がある。

このため、本内容は、スポーツ大会等の企画と評価の仕方、スポーツ大会等の運営と審判法、スポーツ振興のための組織的な活動、スポーツ施設や用具の管理などで構成している。

ア～エ (略)

なお、指導に際しては、生徒の興味・関心の程度等に応じて、以下に示す指導内容例を参考として指導の充実を図るようにする。

#### <スポーツ振興のための職業やボランティアの例示>

スポーツ振興のためには様々な組織や、職業、ボランティアが必要になること。それらにかかわって行政、企業、NPOなどの組織、職業や資格、ボランティアがあること。

組織では、文部科学省や厚生労働省等の国の組織、日本オリンピック委員会(JOC)、各種競技団体などの組織があること。職業では、教師や医師などがあること。資格では、各団体で認定するスポーツ資格などがあること。ボランティアでは、オリンピックにおけるボランティアや障がい者スポーツの支援ボランティアなどがあること。

### 第3節 スポーツⅡ(球技)

#### 2 内容

② 態度については、次の点に配慮して取り扱うこととする。

球技の学習に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、競技のルールや審判の判定を遵守しようとする事、試合後にお互いを讃え合うなどのマナーやフェアプレイの考え方を大切にしようとする事、互いの技術の上達に向けて助け合い高め合おうとする事、審判や記録などの役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする事、チームの作戦や戦術の話合いでは、自分の意見や仲間の意見を調整して合意形成に貢献しようとする事ができるようにする。

(略)

また、ノーサイドやオリンピズムといった考え方があることについても必要に応じて取り上げ、意欲を高めるようにする。